

2026年 月 日

放射線科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ 「 画像下治療（IVR 治療）に関する後方視的研究 」 への協力をお願い

放射線科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2004年6月1日以降に、当科において画像下治療を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2031年2月28日

研究目的・方法：

画像下治療（以下IVR治療）はその低侵襲性から様々な疾患に幅広く応用されており、その有用性については今や疑うべくもありません。さらにIVR治療に用いる医療機器の進歩は日進月歩であり、これまで適応とならなかった疾患に対しても適応が広がり、中にはIVRが治療の第1選択となるケースも増えてきています。また、その有効性ゆえに非常に様々な疾患に応用され、有病率の低い疾患にも有効であることが報告されている一方で、十分な治療根拠が得られているとはいいがたい部分も未だに多く残されています。さらに治療適応判断についても十分な根拠がなく、経験則に基づいて行われているケースが多くあるのも実情です。このような現状を改善して行くには、過去に行われたIVR治療や治療の可否について判断した画像等の臨床データについて後方視的に十分に検討し、新たなエビデンスとして確立していく事が求められています。

本研究の目的はこれまでIVR治療が行われてきた患者様を対象とし、治療適応判断を中心とした画像所見の解析を行うとともに、治療内容について詳細に検討し、エビデンスを確立していくために研究を行います。

研究に用いる試料・情報の種類： 診療録上のデータ

- ①治療適応判断前の画像所見
- ②画像所見に基づいた適応判断の内容
- ③治療適応と判断した症例については治療時所見とその結果
- ④治療後画像所見
- ⑤経過観察方法（画像撮像時期、撮像すべきモダリティなど）
- ⑥その後の経過

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 放射線科 電話番号 058-230-6437 氏名：川田紘資

研究責任者 岐阜大学医学部附属病院 放射線科 氏名：川田紘資